

2020年9月25日

Peach Aviation 株式会社

Peach はワーケーションを推進し、 サステナブルな社会の実現に貢献します ～地域経済の再生と、社員のワークライフバランスのさらなる向上へ～

- ・ 自社のテレワーク制度「Best Work Place」にワーケーションを追加
- ・ 交流人口の拡大により、地域経済再生への貢献を目指す
- ・ 社員参加のトライアルで取得したバイタルデータを元に、効果と課題を抽出
- ・ LCCならではの低運賃を利用した、気軽なワーケーションプログラムの開発へ

Peach Aviation 株式会社（以下：Peach、代表取締役 CEO：森 健明）は、交流人口の増加による地域経済の再生、そして社員のワークライフバランスのさらなる向上を目指し、2020年9月1日より、ワーケーション制度を導入しました。



ワーケーションとは「ワーク(work)」と「バケーション(vacation)」を合わせた言葉で、旅行先や帰省先などで余暇を楽しみながらテレワークを行う働き方です。長期休暇や有給休暇の取得推進やワークライフバランスの向上にもつながると言われており、これからの新しい働き方として、政府も積極的に後押しをしています。

Peach は、昨年テレワークを「Best Work Place(BWP)」と名付けて制度化しており、日ごろより多くの社員が利用しています。就航以来、志してきた地域経済活性化への貢献、そして社員のワークライフバランスのさらなる向上を目的とし、この度 BWP の一環として、ワーケーションの導入に至りました。対象社員は自身の休暇の合間に、勤務日を設けることができます。



Peach 代表取締役 CEO の森 健明は「ワーケーションは、Peach が大切にしている PEACH SPIRIT である、働くことを楽しもう、を具現化した取り組みです。社員には、Peach 便を利用して積極的にワーケーションを行い、就航先の魅力を自ら体感し、さらには地域の皆さまとの交流を図って欲しいと思います」とコメントしています。

Peach は今後社員だけではなく、1 人でも多くの方にワーケーションをご利用いただけるよう、企業や個人向けワーケーションプログラムの開発に取り組みます。

開発にあたり、ウェアラブル IoT 企業のミツフジ株式会社（以下：ミツフジ、代表取締役社長：三寺 歩）の協力のもと、社員参加のトライアルを実施しました。参加者はワーケーション期間中とその前後、ミツフジの IoT ウェアラブル製品 hamon® (<https://www.mitsufuji.co.jp/service/>) を着用し、バイタルデータを計測しました。このバイタルデータを分析することにより個人の健康状態を可視化し、そこからワーケーションの効果と課題の抽出を行うことで、今後の商品開発に活用してまいります。

Peach は「空から、新しいかけ橋を。」を事業推進のテーマとしています。LCC ならではの低運賃だからこそかなう、誰もが気軽に参加できるワーケーションを Peach の就航先で実現することにより、人や地域をつなぐ「かけ橋」となり、交流人口の拡大、そして地域経済再生へ貢献してまいります。